

令和4年度第6回御宿町教育施設検討委員会 議事録

日時：令和5年1月31日（火）

午後3時から

場所：御宿町役場中会議室

（事務局）

本日は、お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。

ただいまより、第6回御宿町教育施設検討委員会を開催いたします。

本日、鶴岡委員につきましては、所用で欠席でございます。はじめに、三上委員長よりごあいさつをお願いいたします。

（委員長）

本日は、ご多用の中教育施設検討委員会にご参加くださり、ありがとうございます。

前回の会議におきましては、アンケートの実施に係る検討事項について協議を行い、アンケートは実施する方向で検討委員会では話があったかと思えます。その後、アンケート調査が実施され、本日事務局で集計していただいた結果についてご説明があるかと思えます。また、アンケート調査の結果概要は、事前に委員の皆様のお手元に届いて確認していただいていると思えますので、本日はご意見をいただくとともに検討委員会としてこの結果をどう捉え、今後どのように進めていくのかということだと思えます。

それでは、本日もよろしくをお願いいたします。

（事務局）

ありがとうございました。

続いて、石田町長よりごあいさつ申し上げます。

（町長）

本日はお忙しい中、第6回教育施設検討委員会にご参加いただきまして、誠にありがとうございます。

さて、昨年12月におきましては、年末のお忙しい中にも関わらず、急遽検討委員会を開催していただき、保護者の皆様、町民の皆様をお願いいたしました御宿小学校更新に係るアンケート調査について、検討委員会委員の皆様方のご意見をいただき、12月23日に発送、配布、1月11日を締切として実施することができました。ご協力ありがとうございました。おかげさまで、394名の方からご回答をいただくことができました。

この度、アンケート調査の結果が出ましたので、後ほど事務局からご説明させていただきますが、今回のアンケートは、御宿小学校更新にあたり、御宿町在住の保護者の皆様や地域の皆様が、御宿小学校を更新する上で重要と考えていることや、建設候補地についてのお考えや意見等を把握することを目的に実施させていただきました。私もアンケート調査を見させていただきました。

が、ご回答いただきました皆様が年代地域に関わらず、御宿小学校の更新へ高いご関心をお持ちであること、さらには、町の今後について真剣にお考え下さっていることがわかりました。いただきましたご意見を真摯に受け止めまして、検討して参りたいと考えております。

本日は、集計結果を見ていただいた中で、施設検討委員会委員の皆様方の率直なご意見を頂戴できればと考えております。また、今後の進め方につきましてもご助言いただければ幸いです。本日は、どうぞよろしく願いいたします。

(事務局)

それでは、御宿町教育施設検討委員会設置要綱第6条の規定により、委員長が議長となりますので、三上委員長議事進行をお願いいたします。

(委員長)

はい。それではよろしく願いいたします。

本日、本委員会の傍聴の希望3名がおりますので、教育施設検討委員会設置要綱第9条の規定により委員の皆様にお諮りしたいと思います。

賛成過半数にて許可したいと思いますので、よろしく願いいたします。傍聴のご希望がありましたのは、御宿町議会議長、おんじゅく認定こども園令和5年度会長就任予定の保護者の方、千葉日報社の方、3名です。

(委員長)

これより採決を行いたいと思います。

御宿町議会議長について、傍聴に賛成の方は挙手願います。いかがでしょうか。

(委員) 全員の挙手あり

(委員長)

それでは、議会議長については、傍聴を許可いたします。

続いて、おんじゅく認定こども園令和5年度会長就任予定の保護者様について、傍聴に賛成の方は挙手願います。

(委員) 全員の挙手あり

(委員長)

それでは、おんじゅく認定こども園R5年度会長就任予定の保護者様の傍聴については、許可いたします。続いて、千葉日報社の傍聴について、賛成の方は挙手願います。

(委員) 多数の挙手あり

(委員長)

過半数ですので、千葉日報社の傍聴については、許可いたします。

よろしく願いいたします。3名の方の傍聴を許可いたしましたので入室を許可します。

では、議事の内容に入りたいと思います。

議題1 御宿小学校更新に係るアンケート調査結果について事務局より説明を求めます。

(事務局)

御宿小学校更新に係るアンケート調査結果について、ご説明させていただきます。

お手元に、事前にアンケート調査結果概要をお配りさせていただきました。

先ほど、町長からもお話がありました。12月8日の検討委員会でのご意見を頂戴した後、事務局でアンケートについて再度検討させていただきました。12月23日に発送・配布させていただきました。締め切りは、1月11日とさせていただいておりましたが、締め切り日より遅れて提出のあった方々についても、できるだけご意見として取り入れたいという町長の意向から届きましたアンケートすべてを集計しております。

それでは、資料をご覧ください。順番にご説明させていただきます。

(1) 調査の実施概要について

本調査の目的ですが、御宿小学校更新にあたり、御宿町在住の保護者の皆様や地域の皆様が、御宿小学校を更新する上で重要と考えていることや、建設候補地についての考えや意見等を把握し、御宿小学校更新の参考させていただくため実施したものです。

調査の対象は、御宿町に住民登録のある0歳～15歳のお子さんをお持ちの保護者の皆様、年代別に無作為に抽出した地域の皆様の合計1,000名です。

調査期間は、令和4年12月23日から令和5年1月11日までです。

調査方法ですが、御宿小学校・御宿中学校、布施小学校、おんじゅく認定こども園に在籍している保護者の方々にしましては、各学校、こども園を通して配布・回収、まだ、入園等していない方や町外の学校に区域外就学しているお子様の保護者の方については、郵送による配布・回収を行いました。また、地域の皆様へは、郵送による送付・回収を実施いたしました。

配布数は、1,000票、回収数は394票、回収率は、39.4%でした。

それでは、(2) アンケート内容についての調査結果に移らせていただきます。

1、2ページになります。①回答者の年代、②性別、③お住まいの地区について

回答者の約7割が40代、50代の方でした。ご回答いただいた保護者の方の割合が多いことが要因であると考えられます。また、男性、女性の割合はほぼ半数でした。今回の調査では、保護者の方を含め、地域の皆様に関しても戸単位で世帯主様宛に、調査票を配布させていただいたため、当初回答者が男性に偏るかとも考えておりましたが、ご家族の中のどなたがお答えになっても良いという方式で回答をお願いしておりましたので、男女の割合はほぼ同数という結果になりました。

地区別では、御宿台区が22.1%、続いて、久保区が18.0%、新町区が14.2%となりました。

3ページになります。始めに1箇所訂正がございます。グラフ中、上から6番目の「ナムダの

ない耐久性のある施設建設」と記載されておりますが、こちら「無駄のない施設の活用」になりますので、訂正させていただきます。

④御宿小学校更新する上で最も重要と思うことについて、上位5つを回答していただくものについては、「安全で耐久性のある施設建設」が188人、「高台への建設」が187人、「小中連携（一貫）教育の推進」が150人、「スクールバスの運行」144人、「避難所として活用」が133人と上位を占めています。

4ページになります。⑤候補地について、布施小学校、御宿中学校の2箇所のうちでは、「御宿中学校」が70.6%で最も高くなっており、「布施小学校」が16.0%、「その他」が8.1%となっています。

参考となりますが、御宿中学校を選択した方で、御宿小学校を更新する上で最も重要と思うことについては、「オ 小中連携（一貫）教育の推進」、「二 安全で耐久性のある施設建設」、「ア 高台への建設」が最も多くなっており、布施小学校を選択した方では、「二 安全で耐久性のある施設建設」、「ア 高台への建設」、「イ スクールバスの運行」が最も多いという結果でした。

続いて、5ページになります。⑥「その他」の候補地を選択した8.1%の方の場所別人数ですが、御宿台が20人、御宿小学校5人、駅裏が5人、B&Gが3人、こども園隣が1人、旧御宿高校が1人でした。一人につき複数の場所を記載している方もおりましたので、⑤候補地についての集計表その他の合計よりも多くなっています。

続いて、ご意見になります。

こちらにも1箇所訂正がございます。布施小学校の敷地に関するご意見の一番目、「児童の登校は、徒歩を基本とすべきである。スクールバス利用者を少数に抑える事ができる。」というご意見は、御宿中学校の敷地に関するご意見になりますので、訂正させていただきます。

布施小学校、御宿中学校をそれぞれ選択した方で記載のあるもの以外で、良いところがあったらご記入くださいというところですが、そこに記載のあるとおりでございます。こちらの回答欄には、良いところのご記入をいただく予定でございましたが、ご意見もございましたので、ご意見もそのまま記入させていただきました。

布施小学校については、「地域との連携が強い」、「グラウンド、遊具の充実」などが挙げられました。

御宿中学校については、「自宅から近い」「徒歩で通える」、「町中である」、「学童が近くなって良い」などの良いところが挙げられました。

その他の敷地の中では、「御宿台」、「こども園脇」を挙げた方のご意見については、「高台」であること「こども園と近い、連携がとりやすい」などが挙げられました。

少数ではありましたが、「御宿小学校」を挙げた方のご意見については、「町の中心部である」が挙げられました。その他には、B&G、駅裏、天ノ守などのご意見がございました。

御宿小学校に関するご意見ということでの自由記載欄につきましては、様々なお考えをたくさんご記入いただきました。町長をはじめ、事務局全員すべてに目を通させていただきました。ご回答くださいました皆様の中には、自由記載欄に入りきらずに別紙を付け加えて下さいました方も

いらっしやいましたし、アンケートと一緒にお送りした配置(案)に直接ご自身の案をご記入いただいた方もいらっしやいました。それぞれの良いと思う候補地についてのご意見や、進め方について町の政策等に関するご意見まで多岐にわたっておりました。また、アンケートへのご回答はいただき、自由記載欄に記入がなかった方々につきましても、これも一つの回答であると認識してございます。

アンケートの自由記載欄でございますが、いただきましたご意見は大切に取り扱いをさせていただきます、今後の検討にさせていただきますと思います。

なお、アンケートに対するご意見については、個別にはご回答いたしません、アンケート結果の概要について、ホームページを通して公表させていただきます。保護者の皆様には、連絡メール等を利用して、アンケートを公表したことをお知らせさせていただければと思っております。また、区長様方にもご報告させていただきたいと考えております。説明は以上です。

(委員長)

はい、ありがとうございます。ただ今、事務局よりアンケート調査結果につきまして説明がございました。それではこれにつきまして、委員の皆様方からこのアンケート結果に対しまして、感想やご意見をお伺いできたらと思っております。本当に自由記述をそのまま書いてくださって、大変だったんじゃないかなというふうに思います。ご苦労が伺える内容になってるんじゃないかなと思います。この結果に対しまして、感想、それからご意見ございましたらお願いしたいと思えます。いかがでしょうか。

(北村委員)

北村でございます。委員長からもお話ございましたが、まずこれをまとめていただいたという作業が本当に大変な作業だったと思います。本当にお疲れ様でした。ありがとうございます。感想、意見ということでまず様々な視点から示唆指摘、ご提言を得られたということに関しては本当に非常によかったなというふうに思っております。なるほどと関心をさせられるような内容も多く、実際に今までこの会に何回も出させて頂いて、自分なりにこうだなということ、自分の意見を述べてきたと思うんですが、その意見を一部改めるまでに至ったと、それこそが私が今まで申し上げていた議論とか意見をぶつけ合うことで、最初から答えが一つで、もう決まったストーリーではなくて、なるほどなということ、私も含めて委員の皆さんも、それから町の保護者の皆さんも今までこうかなと思ってたけど、そういう意見もあるか、なるほど、もしかしたらそっちのほうがいいかもなということ、起きうると、それこそがまた議論をどんどん深めていくことにつながるといふふうに改めて実感した次第です。もう一つの感想として、事務局の方からお話ありましたが、この候補地選定の問題だけにとどまらず、町の重大な選択、分岐点において、どういうふうに検討を進めるべきなのか、あるいはこういった委員会、大体あて職でっていうふうに批判されがちですけれども、改めてこういう委員会の持ち方、在り方みたいなことも疑問が投げかけられるようなご意見もあったかと思えます。町長におかれましては、住民参加のまちづくりということで、いろんな場面で述べていらっしやいますけれども、改めて今回、そういうところにも問題を突きつけられたというか本当に建前ではなくて、本気で住民参加の町づくりを、

今後進めていくというお気持ちが町の方にあるのであれば、今回挙げられたような進め方とかの持ち方とかあり方とかっていうことも含めて見直しを考えるいいきっかけをいただいたんじゃないかなというふうに思いました。

2つ目、候補地についてのこの回答結果についてなんですが、大方の予想通り、私も会議の中で、このままこの形でアンケートを取れば、7対3とか8対2とかっていう形で御宿中に集まるんじゃないかなということを申し上げていたと思いますが、大方の予想通りの結果、数字としては出てきたと。ただ。アンケートの中にも声がありましたけれど、この数字をもって数が大きいからということで決定に進んでいくということがないように、この数字だけをもって決定するのではなくて、また委員長からお話ありましたが、この結果をどう受け止めて、今後どういう進め方をするのかということを中心にきちんとみなさんと議論ができたならというふうに思います。やはり私としては、従前から申し上げますとおり町としてのビジョンとか、あるいはコンセプトみたいなものが示されないまま、つまり示されていないので議論もできてないですし、検討も深い意味での検討はされていないという状態で拙速に建設地を決定してしまうと取り返しのつかない失敗を招く恐れがある。もっと言えば、もったいない。私は採算もったいないという言い方をさせて頂いておりましたけれど、せっかく子育て世代中心にこれからの御宿町、あるいはこれからの子供たちを取り巻く環境をどうやって作ったらいいかなっていうことが、今すごく関心が高まって、保護者同士の議論も活発になっているので、この状態を生かすことなく消化不良のまま候補地を決めていってしまうということだけはやっぱりもったいないなというのが、私の率直な感想です。

3つ目として、アンケートの回答用紙とは別に、意見書として出されたというふうに伺っていますが、ページでいうと19ページになりますが、御宿台の竹むら前に小中を統合した形での移転を提案しますという内容の記載があるかと思います。かなりのボリュームがあって、19ページから20ページの真ん中あたりまでの提言を出してくださった方がいるということで、アンケートとは別に意見書というふうな独立した形で提言を寄せられて、最終部分では当案の見解に関してご回答くださいということで、委員会あてに意見書がありまして、この内容に関しては非常に具体的かつ跡地利用や全体的な施設、改修費用の増減などについても考慮がされておりまして、秀逸であるなというふうに感じました。秀逸だからこれでいこうよという単純にそういうつもりはありませんが専門家も含めて、こういった形で前回の会議で、私が申し上げましたけれども、こういった形でアンケートではなくて、そのアイデアシートというか提言みたいな形で募集をかけるということもやれば、これからもっと良いアイデアが今後も出てくる可能性というのは十分あるなというふうに改めて感じています。最後、今後の進め方についてですが、やはり今申し上げたような提言やアイデアシートみたいなものの募集というものを前回の会議でも申し上げましたが、やっぱりやればいいのになと。やった上で最後、皆さんで共有して、それぞれについてこう思いましたとかこれがいいと思いますとか、そういった議論を一定した上で最後結論を出す。結論の出し方に関しては、私はアンケートで数字というか色んな議論、色んなご意見を全部受け止めていただいた上で、やはり町のトップとして、町長に決断をいただくというのが、やっぱりいいのかなと思います。

これで、またアンケートを最後にまた取って、数字がどうこうというのもなかなか難しいのかなってというのは、今回アンケートをとってみて改めて感じました。町のトップとしての町長の思

いとなぜその決断に至ったかという思いをきちんと最終的に町の皆さんにご説明いただくという形で、最後終われば、どの案を取ってもパーフェクトな案というのはないですし、全員が納得ということもないと思いますので、そこは、力強く方針を示していただくということがいいのかなと思います。長くなりましたが私としては以上です。

(委員長)

他にご意見ありましたらお願いいたします。

(立野委員)

かなり多くのアンケートがきまして、集計お疲れ様です。アンケートの内容を全部見させていただきまして、やはり様々な意見が入ってありました。やはりその思い、布施小であったり、御宿台であったり、御宿中学校だったり、その思いが皆さん出てるんだなあと思ったんですけど、あと残念に思ったのが、回収率が40%に達していないってことで、皆さん関心がかなりあるんだなと私は個人的に思っていたんですけど、回答しない方がこんなにもいるんだっていうことに逆に驚いてしまいました。その方々がどういう意見を持っているのか、どういうふうに思っているのかわからないんですが、ここに意見が挙がってきた人たちはそれなりに自分の思いをここに出している人たちなので、色々分かりました。ただ、それは全員が全員同じ納得できるっていう答えは出ないと思うんですね。このアンケートでどこがいいかっていうのが出たんですけど、これをここで決めるとか、そういうのではなく、この意見をすべてである。私も北村議員が言ったように、これを受け止めていただいて、やはり。トップである町長が、これを心に入れて、こういうコンセプトでやっていきたい、そのためにここにするんだというような形で進めていければなど。ただすべてを切ってしまうのではなく、何かしらの対策もとっていかなければいけないのかなと思っております。

(委員長)

はい、ありがとうございました。他にございますか。

(岩瀬委員)

こども園の保護者会会長の岩瀬です。私は、途中から参加させていただいていますので、今までの経緯とか理解していない部分もあるかと思うんですけども、これだけの意見が出ている中で、保護者の方たちにこの敷地って誰が結局決めるのかということをつまに聞かれることがあるんです。その場合に私は、明確には答えられないですし、この先どんな方法で誰が決めていくのかという方向性を決めていった方がこの先いいのかなと思っています。

私も、小学生と中学生の子供がいるので、小学校から帰ってきてすぐに、小学校にまた遊びに行くということが結構あるんですよ。なので、やっぱり敷地としては広くあって欲しいっていう親の願いがあります。なので、財政的な面もあると思うので、やはり全部が全部取り入れていくっていうのは難しいと思うんですけど、ある程度子どもの遊び場がなくなっている状態なので、例えば狭い敷地に作るのであれば、広い広場が欲しい、遊べる場所が欲しいっていうのは親の

希望としてあります。

(委員長)

ありがとうございました。他にございますか。

(岡本委員)

岡本です。このアンケートをまとめていただくの大変だったと思うのですが、このアンケートの集計、保護者の方は何人くらいに配ったのか、あと一般の方にどの程度配ったのかという割合を知りたいです。

(委員長)

事務局よろしいですか。

(事務局)

保護者の方 268 名配布いたしました。一般の方には 732 名配布をしております。

(岡本委員)

一般の人に、アンケートを配った際の選ぶ基準は、こういった基準ですか。

(事務局)

まず、世帯主の方を抽出させていただいて、そこから保護者の方を外し、そこから年代別に無作為抽出という形で抽出させていただいております。

(委員長)

よろしいですか。

他にご質問・ご意見ございますか。

アンケートをやって、町民の皆さんのご意見伺いまして、それぞれアンケートに答えてくださった方の思いがこのアンケートの中に結果として表れているのかということと、それからこのアンケートをどういうふうに戻したらいいのかということをお話になったかと思いますが、そのためにはやはり町のビジョン、コンセプトもしっかりしたそういうものの中から、この教育のために繋げていきたいというようなことだと思っておりますが、他にご意見等ございましたらお願いします。

(委員長)

この委員会ですが、皆さんもご存知かと思いますが、その要綱の中に何て書いてあるかというと、第2項に「この委員会は次に掲げる事項について調査研究し、その結果を町長に報告するものとする。」という記述があります。その中に「教育施設の整備方針に関すること」、そして「前項に掲げるもののほか、学校施設の整備に関し必要な事項」というような、2項目があります。それに照らし合わせて考えると、その学校施設の整備に関することっていうのが主にここで

検討されるべき。ことだと思えます。それを町長に報告ということになっているんだというのが大事だと思っております。ただ、この検討委員会の中で話し合われた内容は、学校施設のピンポイントではないんですね。これからの町をどういうふうにするかという、総合的なビジョン、こういうものも含まれてきているわけです。そうすると先ほど北村委員がおっしゃったように、この委員会がどういうあり方でどう進めていくのかというのが今後のまた課題になるんじゃないかなと思うんですけども、現時点では、この委員会の役割は、先ほど申しましたように、この学校施設の整備に関する内容について、皆さんと話し合った内容を町長さんに報告するいう形になりますので、その中でやっぱり一番私自身、大事なことは町民の皆さんのアンケートに対してしっかりこの思いを受け止める。それをまた町長さんの方で町づくりの中に活かしていくためにはどうするかという決定をしていただくということが必要としているのではないかなというふうに思っています。ですから、何名かの方は自分のご意見をアンケート結果を基におっしゃっていただいたんですが、ぜひ私も話をしたいということがあれば、話をさせていただければと思っておりますが、いかがですか。

(浅野委員)

前に布施小学校の土地と御宿中学校の土地と2つに絞った段階で、当初は御宿中学校の現在の駐輪場辺りに中学校を新しく建てて、現在の中学校校舎を小学校で使うという形で考えられていて、その2つに絞られたわけですね。それが補助金の関係で無理だということで、この間図面で提案された形に変更になったと思うんですけども当初の案と違ってなんか窮屈な感じがするっていうことを申し上げてきたんですけども、いずれにしてもおびに短したすきに長しっていう感じで、例えば二者選択を迫られても悩むところじゃないかなというふうに思うんですが、そのアンケートを配る段階で、その2つ以外にも、その他の候補地を投げかけているっていうことは、その二者選択にもう限定されてはいないというふうに考えてもよろしいでしょうか。まだ良い案があれば考える余地があるというふうに捉えてもいいんでしょうか。前回元に戻して考えていただけないかと申し上げた時に、そんなことは考えられないような形で言われたので、その辺を少しはっきりさせていかないと、こういうふうに一般の保護者の方、一般の方にアンケートを取った時にその他の候補地なども投げかけてあるということの意味があるということなのかなっていうふうに、まだ他に十分検討していく余地があるのかなどその辺を確認したいと思えます。

(委員長)

はい、ありがとうございます。

事務局の方は、どうお考えでしょうか。

(事務局)

はい。その話を伺った後にアンケート調査の中にできるだけこのアンケートに答えるために新しく詳しい情報を入れてくださいというお話だったと思えます。それをすべてアンケートと一緒にそのアンケートをやる方たちにお送りして、その中からの回答が結果になっているということで事務局では考えております。元に戻すとか、新たにそれを示してというよりもこの前の検討委

員会の中でも今の状況でできるだけ詳しい情報を入れてやって頂いたらということでの結論に至っていると思いますので、そういう形で今回アンケートを取らせていただいたというように把握をしております。以上です。

(委員長)

前回の会議でアンケート実施の前にアンケートの内容を検討したかと思えます。それでいいのかということも、それでいきましょうということもあったんですけども、その他考えていらっしゃる方もいらっしゃるのではないかとところで、情報があつたら挙げてくださいという形で取ったかと思えます。ですから、基本線としてはそのように考えていいんじゃないかなというふうに思っています。その2つの候補になったのは、もう皆さんも十分ご存じかと思えますけれども、現地視察をしたいということ、夏にそれぞれの場所、確か最初に4つの候補地があつたかと思えます。皆さんでその場所に行って視察をして、絞られた2つの候補地だと考えていますので、施設検討委員会としてはその2つの候補地で絞られたかと思えます。

(北村委員)

はい。今の委員長の話に関しては、委員長はそういうふうなお考えでいらっしゃるということは承りましたけれども、私としては委員会としてそのことを結論出したというふうには自分としては受け止めてはいないです。アンケートにも第3の選択肢としてその他というものを設けたということは、やはり2つに限定すべきではないという結論が第3のその他という選択肢であったと思えますし、第3の選択肢として、私が先ほど申し上げた御宿台という候補が出てきた。数字としては、今の段階では非常に少ない数字として表れていますが、私がそうであったようにこっただと思っていた方が、この意見を聞いてこの数字が変わる可能性が十分にあるわけです。そうですね。それをせずにこの2つだよ。数字を聞いて圧倒的に御宿中だよ。というのはやはりよろしくないのではないかなというふうに思います。なので、そういう意味でも改めて議論、アンケート回答率を見ると関心ない方も数字としては6割という声もありましたけれども、蓋を開けてみてその割合の対象者を数字で見ると一般の方が七割以上、実際の当事者である保護者たちは二割七分かなということで、数字としてもアンケート回答率という意味ではこんなものだろうな。でも、やっぱり保護者の間での関心の高まり、議論の方が活発になっているということは、これは紛れもない事実だと思いますし肌で感じてますし、これをやっぱりこのままアンケートを受け止めてください。と町長にお返しするのではなくて、もう一回このアンケートで寄せられた様々な意見を皆さんにきちんと提示して、議論をもう一回深めていくということを私はずひやるべきだと改めて思います。

(委員長)

はい、ありがとうございます。

それでは、北村委員から今の話がありましたが、それに関連して何かございますか。

(岡本委員)

はい。アンケートが出回ってて、一部の方から言われたことが、御宿の人間は布施に行くことはないよねと何人かに言われた、なんで御宿に住んでる人が布施に行くんだっていうことで、そのアンケートで見ると布施小か御宿中かって言ったら御宿中学校になるよねっていう話を伺いました。ということは、御宿中学校じゃなくて布施小でもなくて、また別のところがあれば、また御宿の適した場所、御宿台とかそういうところがあれば、そっちを選んだかもしれないという意見を一部の方から聞いたんですよ。やっぱり御宿の中心部で、小学校の場合で小学校に通わせてる親御さんからしたら布施小はないよねという話が御宿の人からは出てきてしまう。なんでそっちの端っこに行かないといけないのという意見を聞いて、そうするとそのアンケートで二択になって、その他を書くところはあるんだけど、そこには書かずに二択だよ。御宿中学校っていうそういうスパイラルじゃないですけど、そういう話があるから、もともと別の場所が選定の場所にあったのなら話が変わってくるから、そこを少し受け止めて、また御宿台とかそういう場所も候補に挙がったらいいのかなと思うのですが。布施小か御宿中かまた御宿台ぐらいはどうかと言ったら、みんな御宿台でいいだろうという人が出てくるはずなんですよ。中間じゃないんですけど、高台で安全だし、こども園に迎え行った人がピックアップして帰れるという連携も取れるし、今後小学校ができて、きっとこれから子供がどんどん少なくなるわけで、新しく御宿台にすごい金額かけて建設するのはどうかという意見もあるかもしれないですが、いずれ中学校も人数少なくなると、少ない小学校、少ない中学校となって、結局統合になると思うんですね。その先を見据えた小中一貫の施設を御宿台に改めて、これから先の未来のために考えて作るっていうことも視野に入れた方がいいのではないかなと。一般の人からのご意見を伺った中でこうゆうお話もありましたという報告になります。

(委員長)

はい、ありがとうございます。

学校が離れていけば地域としてはおそらく布施地区の人は児童が少ないから御宿行くの大変だよ。もっと近いところで環境が良いところがあればそっちの方がいいんじゃないかっていうふうに思いますよね。そうすると、その2つの選択肢の中では布施であったり、あるいはその近くであったりというふうになるかと思うんですけども、それが一つの建設のための視点として、一つの資料にはなりますけれども、それが全てではないみたいなのところもあるのかなと思うんですよ。やっぱりその少し遠くでも子供たちのためにこうした立地の所が良いっていうところもおそらくあると思いますし、その他の色んな総合的な予算面も含めて、どう考えていけばいいのかと本当に悩ましいことがたくさん出てくるんですけども、でも、先ほど申しましたように、このアンケート調査を町でやっているのだから、これはある程度重視しなくてはいけない部分ではないかと私は思っているんですけども。この先どうするのかというところで、まだわからないんですけども、このアンケートを基にして、検討委員会としての調査結果、こういうふうな結果に至りましたというところで、委員の皆さんから今いただいているような意見をまとめて町長へ調査結果として報告するという形でいったらいいのかなと思うのですが、その辺ちょっとお話聞かせてもらっていいですか。

(立野委員)

このアンケートの結果、御宿中学校、布施小学校、その他という形でここに載っています。ただ、これで2つに決めるっていうのは2つというのは町有地であって御宿台という案が出てきていますが、これに関してはやはり予算的なものが絡んでくると思うんですよ。ただ、予算的なものを町有地でないから予算がかかるからといって削除するのではなく、一旦返答して頂くような形で、挙げていただいて予算的に今後御宿の財政的なものとかこれを建てたことによって、今の小学生、これから小学校に通う子供たちがそれを背負っていかなければいけなくなってしまう可能性もあるので、その辺まで考えていただいて、選んでいただければと思います。だから、もう2つで決まりですよという報告ではなく、こういう案もあった、こういう案は予算的にできるのか、今後御宿の財政が圧迫してきてやはり予算的には厳しいというのであれば、それは仕方ないことだと思います。それはそれで説明がつくと思うので。ただ、ここで御宿台はないですという切り方はしてはいけないと思うんですね。こういう案が出てます。ではそれを検討してみましようということにしていいただければと思います。

(委員長) はい、ありがとうございます。

(北村委員)

はい。今の立野委員のご意見に賛成です。それに関連してですが、その予算に関してというお話が出たと思います。これは我々議員でも本当にその捉え方、どう考えたらいいのかとても難しいなというも思っています。というのも単発の今年で終わっちゃうような話であればまだ良いんですが、この大きな学校の40年とか50年とか60年とかの施設を誰のお金でどうやって買って、どう払っていくかみたいなことを考えたときに、関連があるかないかという考え方もあるんですが、一方で、その世代間の公平負担と言われたりするんですけど、要は60年間、あの多世代に渡って使っていくんだから多くの世代の人たちで分担すべきだと言う考え方もやっぱりあると思うんですよ。つまりはローンを組むという簡単に言っちゃうと、そういうことだと思うんですよ。後世の子供たちに負担を残すという言い方をすると、なんかこう悪いことしてるのかなというふうに思ったりもするんですが、じゃあ今あるお金でしか買えないのかっていうと、やっぱりそうではないんじゃないかなというふうにも、私は思うんですよ。そこで私はそう思う。いや、やっぱり借金なんかすべきじゃないと色々な考え方があると思うんですけども、借金をしないということを優先して、すごく限られた予算の中で校舎を作るのか、それとも世代間の公平負担ということも考えた上で、ある意味借金してでも将来のこういう町にしたいんだと。そのためには、今こういう投資をすべきじゃないかということも含めて考えるのかということも含めてですね。もう町の皆さん含めて議論をしていいんじゃないかなというふうに私は思っています。そういう話に関心がない方もいらっしゃると思います。でも、関心を持って思いを持って今回のアンケートもそうでしたけれども、協議の場に加わってくださる町の皆さんもいっぱい居ると思うんですね。しかもその意識っていうのは、昔はなんかこう役場が決めたこと、神が決めたことには逆らわないみたいな意識がかったの日本にはあったと思うんですが、それは時代とともにどんどん薄れてきているし増えてきているし、もっと言うと地域が抱える課題というのはとても難し

くなってきて、役場の職員の皆さんだけとか、あるいは町長、色んな見識を持っていらっしゃると思いますが、でもやっぱり町の皆さんのいろんな知恵と力、あるいは専門家の方たちの知恵と力を借りながら、その難しい問題に答えを出していこうというような時代が今来て変わり目だと思います。そういう意味でもやはりもう一回、このアンケートをきちんと町の皆さんにシェアをして、関心を持った方達に改めて第三の御宿台とか、あるいは更に第四の選択肢が出てくるかもしれない。そんなことも含めて、もう一度議論を深めて、それから色んなやり方があると思いますけれど、公民館で公開プレゼン会みたいなものを行ったらいと思いますし、あるいはそこまで大掛かりでなくても、それぞれ提出してもらったアイディアシートみたいなものをホームページに公開して、みんなで見てもらってと色んなやり方があると思うんですが、やはりもうひとアクション、町の皆さんとすべきかということは何度も同じことを繰り返し申し上げますけれども、私はそういうことをぜひやってみたいと思います。

(委員長)

ありがとうございます。

それでは、ただいま北村委員からご意見ありましたがいかがですか。

(新島委員)

話が戻ってしまって申し訳ございませんが、4つの候補地を2つに選んだ時に浅野委員がおっしゃったように、中学校の敷地では駐輪場の所に小学校の校舎を立てるというようなことでご提案いただいたから、中学校を選定した委員の方もいらっしゃると思いますので、浅野委員がこの視点であるから、中学校敷地を選んだのにそこがなくなったからということは私も浅野委員のご意見に賛同いたします。あとは振り返って、4候補地を2つに絞った時にもう少し議論を丁寧にする方が良かったなと自分で反省しています。決して多い時間ではなかったと思いますし、視察という中で4箇所を回った中で2箇所に絞ったのは本当に自分の立場として、責任ある行動を果たしたかなと思うと、私は子供たちや保護者に対してもう少し責任を持った立場で参加をしなくてはいけなかったなと今とても感じている部分もあります。それで私は子供をやはり広いのびのびとした場所で育てたいです。そして、都市部と違う御宿町の温かさというのは、地域や保護者の方が本当に子供たちに親切にしてくださいます。協力してくださってます。ボランティアで、無償で毎朝寒い中、子供たちの登校を見守ってくださる方もたくさんいらっしゃいます。そういう方たちとの人との触れ合いとか、この豊かな環境とかそういうところを子供たちには感じさせてもらいたいし、そういうことが感じられる御宿町だなというふうに思っておりますので、私個人としては票数の多い中学校を選定するのは、狭いということと保護者の方達の登下校に十分対応できない。日々、保護者の方たちが困るだろうなあというのは想定できますので、票数が多いので中学校にするというなら、もっと敷地をどのようにするのかとかというような幅広いご提案がないといけないのではないかなと思いますので、確かにアンケートはとって、中学校が非常に多いというのは、事前からこういう結果だろうなと思っていましたけど、やはり少数の意見に耳を傾けるということも、もう少し時間をかけて議論をしたいなあというふうに思います。あと、財政面では申し訳ございませんが、広報などを見ればいいんですけど、よく見てもないまま流し

てしまいますので、町の財政に関しては全くの素人ですので、そのような資料もいただけるのであれば私自身として、財政がどういうことだからということも入れながら考えていきたいというふうに思います。御宿町は、財政がないのかなというイメージの中でやっているのと具体的な数字が出てくるのとで違ってくるかと思しますので、責任ある立場でここに来ているなどアンケートを見て非常に感心しましたので、ぜひ協議を続けさせていただければなというふうに思います。ここまで準備してくださいまして、本当にありがとうございます。感謝申し上げます。

(委員長)

はい、他にございますか。今回の会議の大きな目的は、アンケート調査を行った。そしてこのアンケートに基づいて皆さんの意見をいただくという場であると思います。本委員会のこういった会議の内容を町長さんへ結果を報告するというような内容ですので、アンケート調査を住民の皆さんからたくさんいただきましたので、これは先ほど言ったように大きな点じゃないかなと思っています。予算の面とか、子供たちの環境面とか、今はっきりわからない部分もたくさんあると思いますが、いくつかその中に心配ごとの言葉もたくさん書いてありますし、こういう事がいいんじゃないかということもたくさん書いてあります。その場所についてもその二択ではなくて、他の場所も出てきています。そういうところも含めて、もう委員会の意見として、こういうような話し合いが行われましたということで、一旦それで報告させて頂いて、検討していただいてまた、最後この委員会をまた違った形で行うというようなことがあれば、また追加でということならまた引き続き進めるというのはどうですか。このアンケートは、ひとまず一つの資料として出ていますので、話し合ったこの意見をもとに内容を報告するという形でいいのかなと思っております。委員の皆さんがおっしゃってくれたこと、そういうのも含めてこういうの意見がありましたということで報告させていただきたいと思うのですが、その後のご判断は町長さんにお預けするという形にさせていただきたいんですがいかがでしょうか。

はい。お願いします。

(町長)

一言申し上げさせていただきたいと思うのですが、この度非常に広く大きな様々のご意見を頂いて、豊かな意見をいただいております。と思ったわけでありまして。そういう中で、この検討委員会についても6回の開催を得て、そして11月末に行いました保護者の皆さんを中心とする説明会を4回行いましてその時も様々な意見をいただいたわけでありまして。そういう中で、建設候補地の決定指針にかかる評価基準として、皆様にも何回かを示していますように4つの項目を評価基準としたいと申し上げてきました。一つとしては、東日本大震災を教訓に津波被害に対してより安全であること。二つとして、教育環境にふさわしい自然環境であること。三つとして、人口減少、少子化が進む中で小中連携（一貫）教育を見据えた方向性となること、四つとして財政需要に関するものであります。参考までに申し上げますと実は公民館においての説明会で少し触れましたけど、建設費について今町の財政事情も非常に厳しい中にありますけど、建設費について、全くの概算でありますけど、中学校を基準とすると、およそ11億程度で布施小学校を建て替えということになると、16億5千万。そして、御宿台ということで、先ほど出ておりますけど、

ご承知のようにあの広い、お蕎麦屋さんの前の道路の反対側とか広い土地がありますが、また高台で素晴らしい土地でございますが、あそこを例えば、土地を購入して建物を建てて外構整備等をしてということになりますと、西武プロパティーズに少し情報をいただきまして、御宿台の民間の住宅地で売買されているのが約1㎡2万円前後ということでございまして、あの大きな土地も状況によって幾分か違うことも考えられますけど、ほぼ同等と考えてくださいというようなお話もありました。御宿中学校の敷地は33,000㎡であります、例えば小中連携教育を御宿台で実現しようとする、やはり考え方として30,000㎡は必要になります。そうすると、土地購入代金が6億、そして体育館を建設すると約5、6億かかると布施小学校の建て替えということで、先ほど参考に申し上げたんですけど、16億5千万。そして、外構整備に2、3億かかると、32億程度の財源が必要です。これは御宿中に建設する3倍です。現御宿町の財政を考えたときに非常に厳しい。後世の子供たちに借金を残すということを考えても、なかなか想定することはできない。とそのように考えております。

そういう中で、この4つの評価基準については、これは大きなビジョンであり、コンセプトであると思っています。小中一貫にしても、高台を見据え子供の命を安全に守る、そして自然環境の中であって、さらに財政需要を考えながら。これは素晴らしいビジョンでありコンセプトである。この一つ一つをより豊かに膨らまして教育環境については、そしてあの考えたことは中学校ではない工事においても色んなご意見があって、その4つの基準に照らし合わせて、色んなご意見を頂いてますから、そういう中で私としては今後そのような意見を取り入れながら、検討を進めていきたいと考えておるところでございます。そういうところで私としては現在の考えでございますけど、こういった4項目についての説明をする中で、色々やり方など前後したり、あるいは100%ではない進行の仕方もあったかもわかりませんが、このような中で七割を超える候補地の選定がされたということを非常に重く受け止めたい。そういうことで今後も検討を進めていきたいと考えています。

色んな意見がございましたけど、ご意見は頂いてありがたく思っております。そのようなことを踏まえ、今後検討していくことができればと思っております。以上です。

(委員長)

はい、ありがとうございました。

ただいま、町長からお話ございました。他に何かございますか。

(北村委員)

はい、あります。

(委員長)

はい、どうぞ。

(北村委員)

町長の思い、伺わせていただきました。

まず、ぜひこれを回答になってないのは、この御宿台の候補地は32億かかるからちょっとという話がありましたけれども、この数字が正確かどうかはさておき、この19ページの提言の中には公民館の建替え等に今町が計画している費用、御宿中学校を新しく公民館として活用するというのであれば20億の支出がなくなるというような話もあります。これが正しいかどうか、私は検証していません。でも、考え方はこういう考え方もあるっていうことをこの方はお話をくださったんですね。そうすると、ちょうど計算は合う。先ほどの町長の32億の支出ということが、もしこれが正しいのであればなくなるということもあるのではないのでしょうか。そういう意味でも検討をした方がいいんじゃないかなというふうに私は申し上げた次第でございます。それから小中連携、一環教育、これが立派なビジョンであり、素晴らしいコンセプトであるという町長のご発言に関しては非常に残念です。なんて薄っぺらい。もっと色んなこういう町にしたいんだ、だからこういう学校を作ろうよっていうそういう議論しましょうよって言うのに、小中連携のその一言で済ませるとするのは、これはやっぱりもうちょっと丁寧に大事なことなんですから、町の皆さん話をしながら考えていこうという姿勢をお持ちになられた方がいいのではないかなとは思いました。以上です。

(町長)

はい。4項目という4つの軸ということですが、4つの中の1つが小中連携教育なんですけど、指針ということで、これにやっぱり肉付けしていく、内容を深めていきより良い教育環境を作っていく。それはしっかりとやっていきたいと思っております。それと中学校は、学校施設として、一般的な言い方になりますけど、学校施設として建設し補助金をいただいており、それを公民館にしているのは一般的にはちょっと考えられない。それは飛び越えた議論の中ではあるかわかりませんが、その辺についてはどうなのかなという思いはございます。以上です。

(委員長)

はい、ありがとうございます。

はい、どうぞ。

(浅野委員)

先ほど町長さんから各候補地の場所に建てた場合の概算について、お話がありましたので少し確認をしたいんですが、御宿中学校の場合は約11億、布施小の場合は16億5千万。御宿台の場合、建設費用としてほしい5、6億とかという話でしたか。

(町長)

あの今御宿台は何もございませんので、当然新しく建設することになると思うんですけど、布施小学校を全部建て替えるとして、16億5千万という概算があると、同じようにやはり建てないといけないです。ですので、布施小学校だと小学校校舎だけです。例えば、小中連携となると御宿台にそれを実現するとなると施設のにもプラスになると思うんですよ。布施小学校の場合の概算よりも小中一貫を実現するためには、もう少し建物だけで費用がかかる。それに体育館が必要、あ

と土地購入に外構整備とそういうことをプラスするとやはり 30 億は超えるであろうと考えております。

(浅野委員)

小中一貫として考えた場合ですね。小学校だけで建てた場合の想定はしないのですか。

(町長)

小学校だけで考えた場合ですと例えば、布施小学校を建て替えた場合は 16 億 5 千万ということ を申し上げてますが、これは解体費用が 2 億程度入っていると思いますからその金額が下がるの かなと思います。

(委員長)

よろしいでしょうか。他によろしいですか。

(埋田委員)

費用の話が出たので、例えば布施小学校になった場合にスクールバスの 1 年間の費用はどのく らいかかるのか。委託費用もそれなりにかかるということも伺ったこともあるものですから、そ の辺はどうなのでしょう。

(委員長)

事務局、いかがですか。

(教育課長)

スクールバスも範囲によって、台数等が決まってくるので、今の段階でどこまでスクールバ スに乗せるとかという話までここですというのはなかなか難しい話です。スクールバスについ ては、以前から運行するつもりでいるという回答はしているんですけども、その費用について はここでは出さないというようなことで進めてきています。以上です。

(埋田委員)

ありがとうございます。

(委員長)

ありがとうございました。よろしいでしょうか。

(北村委員)

今のスクールバスに関していうと、保護者の方からもご意見があったかと思うんですけど、日 中使用しないのではなくて、地域の交通として活用すると、無駄がないというか、費用はもちろん かかるけど、その分町の活性化というか、町民の皆さんへのサービスとしては、充実していくとい

うことで、単純に学校のことだけじゃなくというご意見もあったと思うんですが、そういう意味では、本当に難しい問題ですが、それ抜きではもう結論はなかなか出せない。だからこそ、もう少しやっぱり時間をかけるべきではないかなというふうに私は思います。アンケートをこういう形でやろうということには、私はやっぱりずっと反対をしていた。それは数字として明らかな結果が出てしまえば、それ以上の議論がなかなかできなくなってしまう。それを覆すような検討の進め方ってというのが非常に難しくなるのではないんですかということ懸念して、そのことを申し上げ続けてきましたけれども、やはり町長のお話でもございました、この結果を重く受け止めてというご発言がありましたとおりに、思った通りじゃないかというのが率直な感想です。でもやっぱり、本当に子供たちのことを考えたら、これからの御宿町の今後のことを考えたら、やっぱり改めてこれだけを持って結論づけるのではなく、第3、第4の選択肢も含めてご検討いただくということができれば、この委員会でそういう方針が合意できればありがたいなと思いましたが、それが難しいのであれば、町長に思いを託すしかないのかなというふうに思います。どういう形でこの委員会を閉じるのかというのが、冒頭で私は申し上げましたが、ご意見もありました委員会のあり方とかっていうことを、改めて問い直すということになるのかなというふうに思います。

(委員長)

はい、ありがとうございます。本委員会のその目的というのは先ほども申しました通り、今のご意見を集約して町長に報告する諮問委員会です。この委員会のことについて、北村委員からどのように進めるのか、その委員会のあり方についてはもう少し検討した方がいいんじゃないかとかのご意見がありました。ただ、今現状の委員会の目的は、先ほど申したような形ですので、これからのこういった委員会の持ち方についてはまだ議論する余地はあるかと私は思っております。ただ、本委員会では皆さんの意見を集約してという形になるかと思っておりますので、一旦町長の方へご報告すると、今日話し合った内容を含めて報告するということとっております。いかがでしょうか。

(委員) 異議なし

(委員長)

ありがとうございます。

では、今後の予定について、事務局よりお願いいたします。

(事務局)

今後の予定ですが、このアンケートの結果をホームページへ掲載をさせていただき予定でございます。保護者の皆様へのお知らせを行ないますが、保護者の皆様へは連絡メール等も使いながらお知らせをしたいと思っております。また、今後2月以降で区長会にこの件についてもご報告させていただきたいと考えております。

(委員長)

ありがとうございました。他に何かございませんか。

(北村委員)

一つ確認させてください。この19ページの意見書の取り扱いなんですけど、今この形でアンケートの回答の一部として扱うのか、それとも別紙みたいな形で扱うのでしょうか。

(事務局)

先ほど、北村委員からお話ありました19ページの回答ですけれども、こちらは、アンケートの自由記載欄に、別紙参照という形で書かれておりましたので、ご意見というところで掲載をさせていただいたところでございます。

(北村委員)

そのことに関して、ご本人の意向わからないですけれども、わざわざ別紙と書かずに意見書としてまとめられて、最終的に回答を求めますというような形になっている。その取り扱いについてはこれでいいのかなという思いがある。あるいは今後、同じようにアンケートと関係なく意見書等が出されたりする可能性もあるんじゃないかな。アンケートの中には、このアンケートの取り方には不満だと、このアンケート取り消しを求めて署名運動をしたいと思っていますという声もどこかに書いてあったように思いますけれども、今後町側が私が申し上げたような場やしくみを用意するにしろしないにしろ、今後も思いを届けてくださる方たちが、出るんじゃないかなと思うんですが、その一つが今回の意見書だったのかなと思うんですね。アンケートの別紙ではなく、その取り扱いについては、今すぐここで結論出さなくてもいいと思うんですが、考えておく必要があるのかなと思いますし、アンケートをホームページで公開してっていうところの掲載の仕方も、この形で出すのか、意見書としてまとめられたその方の意向を尊重して、意見書としてホームページに掲載するのか、その辺について、一旦検討が必要なのかなと思いました。

(教育課長)

はい。これについては、内部でも検討してそのような書き方をしてあったので、そういう集計の仕方をしたということで、このままの状態ですりもりでいるということで、皆様にお示ししていますので、その他に意見等があった場合に今町ですべて全部聞きませんというわけではなくて、広報公聴という制度があるので、その中で聞いていただければ、いずれもご意見等を伺えるような状態です。ただ、今回はこの件について、うちの方が担当してこれを出させていただいて、その中で意見としてここに集計させていただいたというところをご理解いただきたいと思います。

(委員長)

はい。よろしいでしょうか。それでは、事務局の方にお返しします。

(事務局)

たくさんのご意見をいただきましてありがとうございました。以上持ちまして、第6回御宿町教育施設検討委員会を終了いたします。

本日は、ありがとうございました。